

概要

Windows Thin PC とは

Windows® Thin PC (WinTPC) は、Microsoft® ソフトウェア アシュアランス (SA) 特典として提供される、フットプリントの小さな Windows 7 のロックダウン バージョンです。これにより、既存の PC をシン クライアントとして用途変更することができ、新たにシン クライアント ハードウェアを追加する必要性が減少します。またこれらの PC では現行の SA 契約が継続されるので、VDI のための Windows Virtual Desktop Access (VDA) の追加ライセンスは必要ありません。(Windows SA 特典に仮想 OS へのアクセス権が含まれます) WinTPC は、RemoteFX™ のサポートによるすばらしいリモート デスクトップ エクスペリエンスを引き続きユーザーに提供しながら、書き込みフィルターによって PC をロックダウンすることで、優れたシン クライアント エクスペリエンスをもたらします。IT 部門は、System Center Configuration Manager (SCCM) を使用して複数の PC への WinTPC イメージの展開と管理を行い、Windows Update または Windows Server® Update Services (WSUS) を使用してこれらの PC に更新プログラムを適用できます。さらに、WinTPC は、BitLocker® や AppLocker™ といった Windows Enterprise 機能を活用して、エンドポイントのセキュリティをさらに強化します。

WinTPC はどの種類のハードウェアで実行できますか

WinTPC は Windows 7 のロックダウン バージョンであるため、Windows 7 を実行できるあらゆるデバイス上で動作します。Windows Thin PC を実行する上で推奨される仕様は次のとおりです。

- 1 GHz 以上の 32 ビット (x86) プロセッサ
- 1 GB RAM、16 GB の使用可能なハード ディスク領域
- Windows Display Driver Manager (WDDM) 1.0 以上のドライバを搭載した DirectX 9 グラフィックス デバイス
- 起動可能な DVD-ROM ドライブ

WinTPC はノート PC にもインストールできますか

はい。WinTPC は広範な Windows 7 デバイス ドライバー フレームワークを活用しており、ワイヤレス NIC サポートが組み込まれています。ノート PC が上記の構成を持つ限り、WinTPC がサポートされます。ただし、ノート PC 上の WinTPC にも PC の場合と同じ使用権が適用され、ワイヤレス ネットワークを介したリモート デスクトップ エクスペリエンスは、有線接続の場合ほど良くない場合があります。

WinTPC 上でアプリケーションを実行できますか

はい。次のいずれかのカテゴリに該当するアプリケーションを実行できます。

- セキュリティ
- 管理
- 端末エミュレーション
- リモート デスクトップおよび類似テクノロジー
- Web ブラウザー
- メディア プレイヤー
- インスタント メッセージング クライアント
- ドキュメント ビューアー
- .NET Framework および Java 仮想マシン

ただし、Microsoft Office や類似のアプリケーションなどの生産性アプリケーションを実行することはできません。

WinTPC を仮想マシンで実行できますか

WinTPC は、お客様が既存の PC をシン クライアントとして用途変更できるように設計されています。シン クライアント OS は仮想マシン (VM) 向けに設計されておらず、VM でサポートされていないため、WinTPC は VM でサポートされません。

WinTPC では、どの言語がサポートされていますか

開発完了 (RTM: Release to Manufacturing) 時に WinTPC でサポートされているのは英語のみです。一方、ほとんどの言語の周辺機器 (キーボードなど) はサポートされます。WinTPC はアプリケーションをローカルで実行するように設計されていませんが、ユーザーは、別の言語を実行する Windows デスクトップ全体にリモート アクセスすることで、英語以外の言語で実際の作業を行うことができます。

Windows Embedded Standard 7 と Windows Thin PC の違いは何ですか

Windows Thin PC は、Windows Embedded Standard 7 (WES7) コードベースを使用して開発されました。一方、WES7 コードベースは、実証済みの Windows 7 プラットフォームに基づいています。どちらの製品も外観はとても似ており、一般的な機能も共有していますが、いくつかの違いがあります。例えば、次のようなものです。

1. **提供方法:** WES7 は ハードウェア メーカー (OEM) を通じてシン クライアント デバイスでのみ提供されるのに対して、WinTPC はマイクロソフト ボリューム ライセンス (VL) を通じて SA 特典として提供されます。
2. **価格:** WES7 は OEM に販売され、次に OEM からシン クライアント デバイスが販売されます。WinTPC は SA のお客様に無料で提供されます。一方、SA 契約を結んでいないお客様が WinTPC を入手するには、SA、Windows SA、または Windows Intune を購入する必要があります。
3. **イメージ サイズ:** WinTPC のイメージ サイズは一定です。一方、WES7 のイメージは柔軟で、OEM が構成できます。このため、OEM デバイスによって定義される構成に応じて、WES7 イメージのフットプリントは WinTPC デバイスより小さくなったり、大きくなったりします。
4. **ハードウェアの効率:** WES7 シン クライアント ハードウェアは通常、用途変更された PC である WinTPC デバイス以上にロック ダウンされ、電力効率が高くなっています。
5. **Enterprise の機能:** BitLocker、AppLocker、DirectAccess などの機能は基本イメージに組み込まれますが、これらの機能は OEM から依頼があった場合に提供されます。

WinTPC を採用するユーザーに対する Microsoft の推奨事項は何ですか

1. Microsoft の Optimized Desktop 戦略を使用して、サーバーベース デスクトップの最適な使用ケースを特定します。それらの使用ケースに関して、シン クライアントのメリットを最も得られるユーザー (つまり、ローカル デスクトップまたはアプリケーションが必要なユーザー) を特定します。お客様がシン クライアント コンピューティングの採用を既に決定し、シン クライアント デバイスのメリットを得たい場合は、Microsoft の OEM パートナーから Windows Embedded シン クライアントを購入することを検討してください。
2. お客様が純粋なサーバーベース デスクトップ シナリオにおけるシン クライアント エクスペリエンスの評価を行う場合は、WinTPC を使用して既存の PC を用途変更してください。シン クライアント ハードウェアを新たに購入したり、VDI のための関連する VDA ライセンス費用を支払うことなく、シン クライアント エクスペリエンスの評価を行うことができます。WinTPC は、RemoteFX のサポートによって優れたシン クライアント エクスペリエンスをもたらすと共に、書き込みフィルターによってハード ディスクへの書き込みをロックダウンする機能を提供します。また、WinTPC は、System Center のサポートによって、既存のデスクトップ管理インフラストラクチャを使用して管理できます。お客様がシン クライアント エクスペリエンスに満足できない場合、デバイスを再度 PC として用途変更し直すことも可能です。
3. お客様がシン クライアント コンピューティングを推進することを決定し、WinTPC のサポートが終了した場合は、その WinTPC を HP や Wyse といった Microsoft パートナーの新しい Windows Embedded シン クライアントに置き換えることができます。Windows Embedded シン クライアントは、System Center と統合することができるため、お客様は WinTPC に行ったすべてのセキュリティと管理への投資を簡単に活用できます。

提供状況とライセンス

Windows Thin PC はいつから提供が開始されますか

Windows Thin PC は 2011 年 7 月 1 日より VLEC (Volume Licensing Service Center) を通じて、有効な VL 契約をお持ちのお客様向けにダウンロード提供されています。

Windows Thin PC はどのようにライセンスされますか。または、Windows Thin PC の資格が得られるのはどのようなデバイスですか

Windows Thin PC は SA 特典です。PC に対して有効な SA 契約をお持ちのお客様は、これらのデバイスに WinTPC をインストールできます。PC に対して有効な SA 契約をお持ちでないお客様は、WinTPC などの SA 特典が含まれている Windows Virtual Desktop Access (VDA) サブスクリプションを購入することによって、SA を取得できます。ただし、既存の Windows クライアント OS (Professional/Business、Enterprise、Ultimate) を備えたデバイスのみ、WinTPC の資格が得られます。

WinTPC をどこから入手できますか

Windows Thin PC は SA 特典です。したがって、VL のお客様は、WinTPC をボリューム ライセンス Web サイトからダウンロードできます。

どの VL プログラムを通して WinTPC を入手できますか

WinTPC は、オープン、オープン バリュー、セレクト、エンタープライズ アグリーメント (EA)、キャンパス、スクール アグリーメント (CASA: Campus and Schools Agreement) など、SA および VDA をサポートするすべての VL プログラムを通して提供されます。

PC に対して有効な SA 契約がないのですが、WinTPC を入手するにはどうすればいいですか

Windows Thin PC は SA 特典としてのみ提供されます。したがって、WinTPC の資格を得るには、PC に対して有効な SA 契約が必要です。PC に対して有効な SA 契約をお持ちでない場合は、次のいずれかの方法で契約を行うことができます。

1. PC に対して [Windows Virtual Desktop Access \(VDA\)](#) サブスクリプションを購入する。Windows VDA には、WinTPC などの SA 特典が含まれています。
2. PC に対して [Windows Intune](#) サブスクリプションを購入する。Windows Intune でも、WinTPC に対する権限などの SA 特典が提供されます。

ただし、既存の Windows クライアント OS (Professional/Business、Enterprise、Ultimate) を備えたデバイスのみ、WinTPC の資格が得られます。

特長と機能

Windows TPC は、デバイスをシン クライアントとしてロックダウンする上でどのように役立ちますか

WinTPC は、次の機能を通して、既存の PC をシン クライアントとして用途変更するのに役立ちます。

1. **小さなフットプリント:** WinTPC イメージは Windows 7 イメージよりも小さいため、攻撃対象領域が縮小されます。
2. **書き込みフィルター:** WinTPC は、File-Based Write Filter と Enhanced Write Filter の両方を備えています。書き込みフィルターを有効にしてユーザーやアプリケーションによるディスクへの書き込みを防ぐことができるので、再起動ごとに OS が元のイメージに必ず戻ります。
3. **BitLocker:** WinTPC ディスク ドライブおよびフラッシュ ストレージは、BitLocker および BitLocker To GoTM テクノロジーを使用して暗号化できるため、ディスクに保存されているすべてのデータが確実にセキュリティで保護されます。
4. **AppLocker:** IT 部門は、不正なアプリケーションが WinTPC 上で実行されるのを阻止できます。

WinTPC では、RemoteFX が標準でサポートされていますか

はい。WinTPC では、RemoteFX テクノロジーを通して、リモート仮想デスクトップの豊かなユーザー エクスペリエンスがサポートされています。お客様が仮想デスクトップを Windows Server 2008 R2 SP1 Hyper-V™ に展開している場合、RemoteFX を有効にして WinTPC デバイスに豊富なグラフィックスとマルチメディアを提供することができます。

書き込みフィルターとは

WinTPC を使用すると、IT 管理者は製品の書き込みフィルター機能を有効にして、WinTPC デバイスをロックダウンすることができます。書き込みフィルターは、すべての書き込みを仮想ハードディスクにリダイレクトすることで、基本的に WinTPC のハードドライブへのすべての書き込みをブロックします。この仮想ハードディスクの情報は、マシンの再起動時に破棄されます。これにより、WinTPC は再起動ごとに元のイメージに復元されるため、さらなるセキュリティ レイヤーが追加されます。書き込みフィルターは、ハード ディスク全体への書き込みをブロックするよう構成すること、特定のファイルへの書き込みを許可するように構成することもできます。書き込みフィルターを有効にするには、コマンドラインプロンプトを使用するか、Windows Embedded Device Manager (WEDM) 製品を使用します。

WinTPC では、Internet Explorer 9 (IE9) がサポートされていますか

リリース時に、WinTPC に付属されている既定のブラウザーは IE8 です。しかし、WinTPC では、OS インストール後の IE9 のインストールがサポートされています。

WinTPC イメージはどのように管理できますか。または、System Center を使用して WinTPC を管理することはできますか。Windows Embedded Device Manager (WEDM) 2011 が必要ですか

System Center Configuration Manager のサポートが組み込まれた WinTPC は、既存のイメージ展開および管理インフラストラクチャに統合されます。SCCM は、エンドポイント デバイスへの WinTPC イメージの展開と管理に使用できます。また、PowerShell への投資も WinTPC デバイスに拡張できます。OS の修正プログラムと更新プログラムは、Windows Update (WU) または WSUS を使用して WinTPC に提供できます。

さらに、Windows Embedded Device Manager (WEDM) 製品を使用して、環境内の他の Windows Embedded デバイスに加えて WinTPC を管理できます。WEDM は、書き込みフィルターが有効になっているデバイスに対する更新プログラムと修正プログラムの管理を支援して、IT 管理者による WinTPC デバイスの更新プロセスを簡素化します。WEDM 2011 の詳細については、WEDM 2011 に関する FAQ または WEDM 2011 のデータシートを参照してください。

WinTPC では、Forefront Endpoint Protection がサポートされていますか

Windows Thin PC において、Forefront® Endpoint Protection (FEP) は、書き込みフィルター無効時のみサポートされます。詳しくは [Forefront のクライアント要件](#) を参照ください。